



●Answer
ごん に おういんきやうじ
沖縄市・コザ山 仁王院 球陽寺
ほんがんに
(コザ本願寺)
ぜんじゅうしよく きえ りゅうしやう
前住職 帰依 龍照

Q 起工式の設営で、竹や縄がいるといわれました。私の住んでいるところには、近くに竹がありません。これって省略できますか？(那覇市・Sさん、40代、男性)

A Sさん、街の中では、竹はなかなか手に入らないですね。竹がないとき、沖縄ではどのように解決しているのか、ご一緒に考えていきましょう。

住宅など、建物を造るときは建築行事の一つに起工式(地鎮祭)があります。沖縄では、天候に左右されないよう、テント・テーブル・イスを準備して、正面にはガジュマルなどの樹木の枝を、四方には竹を立て、その竹と竹の間に縄を結んでいきます。また、三角すいの砂山を盛り、周りには紅白幕を張りめぐらします。この設営の一つ一つには、伝統的な意味があるといえます。

起工式の設営の意味

起工式で設営するものは、次のような意味があります。

テント⇨ティンゲ(天蓋)⇨天を覆う蓋⇨建物の屋根

ガジュマル⇨中柱⇨中心の柱⇨建物の大黒柱
竹⇨四方(東西南北)の脇柱⇨各方面の柱⇨建物の各部屋の柱
縄⇨ヒジャイ(左) 縄⇨通常の結び方(右巻き)の逆から結う(左巻き)⇨縄⇨建物の壁

砂山⇨ナカジン(中陣)⇨中心の場所⇨建物がある土地の中心。中心という意味から、建物に住む家族を映し出す鏡との説もある

紅白幕⇨紅幕(平家)・白幕(源氏)⇨源平合戦など、本来は敵対する者同士が休戦して、一堂に会すること⇨平和・祝儀⇨起工式の円満な盛会

このほかに、沖縄では地域・家庭・個人により、多種多様なありがたい意味があるといえます。

竹は「松竹梅」と「四つ竹」

起工式だけでなく、祝い事などで竹を多く用いる理由は、「松竹梅」に由来します。これは、歳寒三友という中国の故事からのものです。

真冬の降り積もる雪にも、真夏の炎天下にも負けることなく、いつも青々と育ちゆく竹の姿は、「人生

は、竹のように折れず、迷わず」という縁起物といわれています。

また、沖縄の起工式での竹は、建物の各部屋の柱を意味するといいますが、四方の竹という四の数字から、琉球古典舞踊で用いる「四つ竹」と同じ名称でよ

ばれることもあります。打楽器である「四つ竹」は打ち鳴らすことにより、マジムン・ヤナムンを追い払う意味があるともいわれています。起工式の四方の竹も、「四つ竹」と同様、マジムン・ヤナムンを追い払うシチヌウグワンを兼ねているという考え方があります。

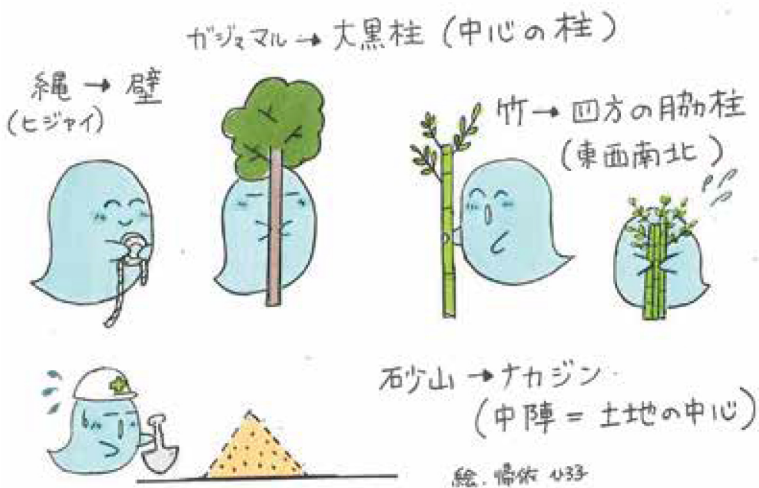
竹がないときの設営方法

竹は、ありがたい意味がありますので、やはり省略しない方がいいかと思っても、どうしても竹が手に入らないときは、解決方法として、テントの四隅の脚を竹と見立てる方法があります。

それは、テントの脚に縄を張りめぐらして、簡易的に建物の各部屋の柱と壁

を表現する方法です。竹があるときでも、竹を立たせるためにテントの脚に結びつけるなど、テントの脚と竹が一体化していることがありますが、その応用を解決方法とされてみてはいかがでしょうか。

また、担当される建設会社様や設営のイベント会社様にご相談されますと、探してでも準備してください。分お一人で抱えることなく、ぜひ、お尋ねされてみてください。Sさん、ミィヤー(新家)のティンダティグスージ(起工式)、誠に御座ります。



帰依 龍照(きえ りゅうしやう)

1968年、岡山県出身(53歳) / 学歴: 岡山大学大学院博士課程単位取得・中央仏教学院研究科卒 / 専門分野: 哲学(宗教哲学) / 沖縄県宗教研究会・理事長 / FMコザ・ラジオパーソナリティ / 新刊『琉球・沖縄の仏教・浄土真宗 実践講座④・⑤』『琉球・沖縄の仏壇・墓 百科事典(上巻・下巻)~葬式・法事・年中行事の作法・心得 ハンドブック①・②~』令和4(2022)年7月発売予定

【質問をお寄せください】 年中行事やしきたりに関して、日ごろから疑問に思っていることや、質問をお寄せください。随時、紙面で紹介する予定です。「かふう編集室 年中行事Q&A係」郵送、FAX、メールで受付。宛先は19面をご覧ください。